

2023 SUPER FORMULA LIGHTS Round 16・17・18



Rd. 16・17・18 Information

開催サーキット モビリティリゾートもてぎ (栃木県茂木町)

日時 11月18日(土) 11月19日(日)

天候 晴れ 晴れのち曇り

来場者数 発表なし

2023年の全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権の Round16・17・18 が、モビリティリゾートもてぎで開催された。ポイントランキング首位で最終大会を迎えた平良響は、3レース全てでトップを目指して果敢に攻めたが、最上位はRound18の3位となり、総合2位で今季を終了。野中誠太はRound17で4位入賞、古谷悠河は2レースで入賞を果たし、Round18では5位を獲得。エンツォ・トゥルーリは初日こそ苦戦したが2日目に挽回し、Round17・18で6位に入賞し、2023年シーズンを終えた。

PONOS Racing TOM'S 320 TGR-DC

35 DRIVER
野中 誠太



Rd.16 Rd.17 Rd.18

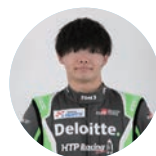
予選 5位 6位 5位 ▶▶ Driver Rank 7位
決勝 5位 4位 7位

	Rd.16	Rd.17	Rd.18
予選タイム	P5/1'44.000	P6/1'43.650	グリッドは第16戦の決勝レース結果
ベストタイム	P5/1'45.862	P4/1'45.207	P7/1'46.638



Deloitte HTP TOM'S 320

36 DRIVER
古谷 悠河



Rd.16 Rd.17 Rd.18

予選 6位 7位 6位 ▶▶ Driver Rank 8位
決勝 6位 8位 5位

	Rd.16	Rd.17	Rd.18
予選タイム	P6/1'44.266	P7/1'43.833	グリッドは第16戦の決勝レース結果
ベストタイム	P6/1'46.158	P8/1'45.868	P5/1'46.242



モビリティ中京 TOM'S 320 TGR-DC

1 DRIVER
平良 響



Rd.16 Rd.17 Rd.18

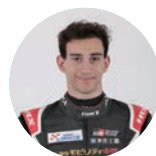
予選 7位 3位 4位 ▶▶ Driver Rank 2位
決勝 4位 5位 3位

	Rd.16	Rd.17	Rd.18
予選タイム	P7/1'44.325	P3/1'43.472	グリッドは第16戦の決勝レース結果
ベストタイム	P4/1'45.588	P5/1'45.003	P3/1'46.004



モビリティ中京 TOM'S 320

37 DRIVER
エンツォ・トゥルーリ



Rd.16 Rd.17 Rd.18

予選 8位 8位 8位 ▶▶ Driver Rank 5位
決勝 8位 6位 6位

	Rd.16	Rd.17	Rd.18
予選タイム	P8/1'44.471	P8/1'44.386	グリッドは第16戦の決勝レース結果
ベストタイム	P8/1'46.224	P6/1'45.316	P6/1'46.532



2023 SUPER FORMULA LIGHTS Round 16・17・18

予選

天候:晴れ/気温:12℃/路面温度:16℃

予選1回目ではライバルの先行を許すも、 2回目で平良が3番グリッドを獲得する。

今シーズンの最終大会となったもてぎ大会。例年よりも遅い11月中旬の開催ということもあり、最低気温は二桁を下回るほどの寒さとなった。さらに17日(金)の専有走行は終日ウエットコンディションとなり、週末の天気予報を見越して、走行を控える車両もあった。



18日(土)の9時25分から行われた予選1回目では、路面温度が低いこともあって、各車念入りにウォームアップの後にタイムアタックを実施。野中がTOM'Sチーム内最上位となる5番手を獲得し、古谷が6番手に続いた。ランキング首位で今大会を迎えている平良は、チャンピオン獲得のためにも上位グリッドを獲得したいところだったが、7番手に終わった。トゥルーリはクルマの挙動に違和感を感じており、8番手で最初のセッションを終了した。

10分のインターバルを経て行われた予選2回目では、問題点を修正した平良が3番手に順位を上げた。その他は野中が6番手、古谷が7番手、トゥルーリが8番手から、それぞれ決勝レースでの追い上げを目指す。



ドライバー 野中 誠太

35

走行初日の段階から、ライバルとの差は感じていました。

金曜日に雨が降った影響で、木曜日の走行に近い路面コンディションになるかなと想定していましたが、実際には少し異なっていました。クルマも合わせ切れていない中、ドライビングで必死に合わせ込んだ状況でのアタックとなりました。



ドライバー 古谷 悠河

36

初日の状況と比べると、内容としては悪くないです。

初日の走行では非常に調子が悪かったので、今までやったことがないくらいのセッティング変更を施して予選に臨みました。結果としては6位と7位で良くはありませんが、方向性は間違っていないことは確認できました。結果は残念でしたけど、次に繋がる予選でした。

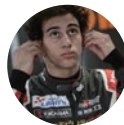


ドライバー 平良 響

1

上手くいかなかった、1回目のアタックが悔しいです。

予選1回目は自分のミスもありましたし、クルマのセッティングも完璧ではなかったこともあり、下位に沈む結果になりました。2回目に向けてセッティングも変え、気持ちも切り替えて、自分の全力を出し切りましたが、トップには届きませんでした。



ドライバー エンツォ・トゥルーリ

37

前戦までの好感触がない状態。その原因を見つける必要がある。

グリップ力が感じられなくて、なかなかクルマが曲がってくれないような印象がありました。予選ではミスもあって、全体的に遅れる結果でした。ここから挽回するのは簡単なことではないですが、まずはデータを全てチェックして、何が起きているのかを解明したいです。



チーム監督 山田 淳

最後まで何が起こるか分からないので、レースは諦めずにいきたいです。

全体的に予選が良くなかったというのが正直なところです。中でも、平良選手は10ポイントリードの状況で最終大会に臨みましたが、予選1回目で後方に沈む結果となってしまいました。レースはスタート勝負になるところもありますが、最後まで諦めずにいきたいです。

2023 SUPER FORMULA LIGHTS Round 16・17・18

決勝

Rd.16 天候:曇り/気温:15℃/路面温度:18℃
 Rd.17 天候:晴れ/気温:9℃/路面温度:13℃
 Rd.18 天候:晴れのち曇り/気温:19℃/路面温度:28℃

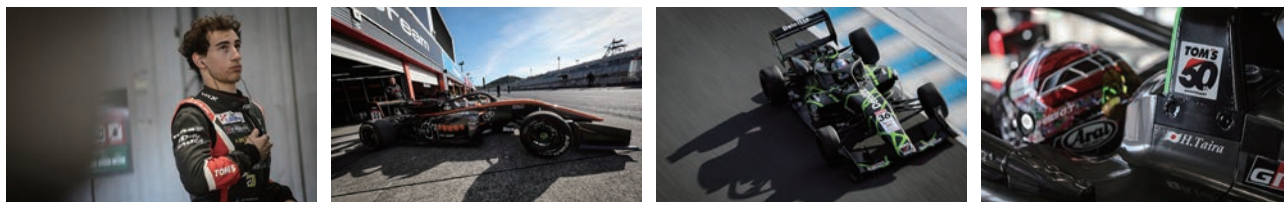
Round18で平良が3位表彰台を獲得。 最終戦まで奮闘するものの、王座獲得ならず。



18日(土)のRound16決勝(14周)は、7番グリッドの平良が好スタートを決めて5番手に浮上すると、2周目に1台抜いて、4位でフィニッシュ。野中が5位で続いた。古谷はライバルと接戦になりながらもポジションを守り6位入賞。トゥルーリは8位で、1つ目のレースを終えた。

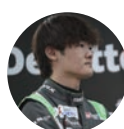
19日(日)のRound17決勝(20周)は、3番グリッドの平良がスタートで順位を落とし4番手でレースを終えたが、1周目の混戦で走路外走行があったとして5秒加算ペナルティを受け、正式結果では5位となった。これで野中の順位が繰り上がり4位、トゥルーリは2つ順位を上げて6位入賞を飾る。古谷は1レース目で使用したタイヤを継続して使う戦略に出て8位となった。

Round18決勝(14周)では、スタートで1つ順位を上げた平良が表彰台圏内でバトルを繰り広げ、今大会最上位となる3位を獲得。古谷も我慢の2レース目から一転し、前を積極的に追いかける走りを見せ5位となった。トゥルーリは6位で2戦連続入賞。1周目の混戦で順位を下げた野中は7位で最終戦を終えた。



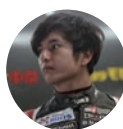
ドライバー 野中 誠太 35
**今シーズン学んだことが、
自分の走りにつながりました。**

予選1回目でTOM'S勢の最上位になるなど、ポジティブな部分もあった週末でした。スピードでは、シーズン前半と比べると大きく改善されています。ライバルとの差は詰められませんでした。今年、学んだことで、自分のドライビングが良い方向に行っていたのかと思います。



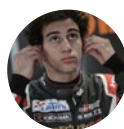
ドライバー 古谷 悠河 36
**自分に出ることは、
全てやり切った最終大会でした。**

1レース目と2レース目を同じタイヤにしたので、3レース目はプッシュしていくことができました。ずっと前に1台いる状態でしたが、単独で走っていれば、もっとペース良く走れたと思います。全体的にライバルに先行されましたが、予選・決勝ともにミスなく走れたと思います。



ドライバー 平良 響 1
**今大会だけを見ると、
スピードで相手に負けていました。**

細かなミスが響いた大会でした。予選1回目で結果が良ければ、週末の展開も変わったかもしれません。また2レース目でもスタートで順位を上げていれば表彰台も獲得できました。3レース目も木村偉織選手を追いかけましたが、徐々に離されていき、悔しい大会となりました。



ドライバー エンツォ・トゥルーリ 37
**今年は良い時もあれば、
悔しい時もあったシーズンでした。**

2レース目以降で改善できたことが多かったです。それでも足りないところはたくさんあったので、今大会で起きていたことを分析して、今後につなげていきたいです。今年初めて走るコースばかりでチャレンジングでしたが、良い経験になりました。

2023 SUPER FORMULA LIGHTS Round 16・17・18



チーム監督
山田 淳

チャンピオンは獲得できませんでしたが、 来年につながるものが見つかりました。

まずはチャンピオンを獲得した木村選手に祝福を送ります、レースウィーク通して素晴らしい走りでした。

今大会は、予選の結果が大きかったなという印象です。来年から dallara324 に変わりますが、いろいろな意味で次につながるものが見つかった週末だったと思います。チャンピオンを獲得することはできませんでしたが、しっかりと見直して、来年に向かいたいと思います。

最後に、VW エンジンチューナーの Spiess から Project Manager である Niko Wanek (ニコ・ワネック) が茂木に来日。レース後に『来年からワンメイクエンジン、これで一つの時代が終わったね』と寂しそうにサーキットを後にしたのが印象的でした。33 年間、我々トムスと共に戦い数々の成功を取めた素晴らしいライバルであり良き仲間、ありがとう！



トヨタモビリティ東京

KUO GROUP

Deloitte.

PONOS



坪井工業



損保ジャパン

東京アーバンコンサルティング

